

POST GRADUATE SEMINAR

齲蝕予防の現在と未来：エビデンスを評価する



講師 内藤真理子 先生

(広島大学大学院医歯薬保健学研究科口腔保健疫学)

日時 2019年7月7日(日)

会場 九州歯科大学

齲蝕は感染症であるとともに、生活習慣病でもあることが知られています。齲蝕の発生要因には、個体要因、病原要因、環境要因がかかわっていることが示されてきました。近年、齲蝕の発生や進行における、社会経済的要因の影響や地域のソーシャルキャピタルの関与についても、検討が進められています。

本セミナーでは、研究成果に基づいた、齲蝕予防に関するエビデンスの紹介を行います。現状ならびに今後の展望について触れたいと思います。さらに、医療分野におけるエビデンスの評価方法についても概説します。

情報化社会において二次情報の利活用は重要性を増しており、歯科分野も例外ではありません。エビデンスの収集から評価に至るまでの各ステップの説明を含め、日常臨床に役立つ情報を提供したいと考えています。

【略歴】

- 1991年 九州歯科大学卒業
- 1991年 産業医科大学歯科口腔外科 専修医(1993年まで)
- 1996年 九州歯科大学小児歯科 助手
- 1997年 九州歯科大学小児歯科 研究生
- 2001年 歯学博士(九州歯科大学)

- 2001年 京都大学大学院医学研究科 研究員
- 2004年 名古屋大学大学院医学系研究科 助手
- 2007年 名古屋大学大学院医学系研究科 講師
- 2010年 医学博士(名古屋大学)
- 2010年 名古屋大学大学院医学系研究科 准教授
- 2018年 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 教授、現在に至る